情報誌 2020.7

kokoiro

伊丹市立男女共同参画センター、ここいろ、 は

性別にかかわりなく、

誰もが自分らしく生きられる

誰もが気軽に訪れ、学び、交流できる、

社会づくりの拠点」として、2020年4月に開設されました。

地域に開かれた男女共同参画センターを目指しています。



▮寄稿

センター主催講座(2020年 6/3~6/24) 「ここからはじまる ここいろジェンダー講座」講師より

7

か

5

ح

ろ

2)

期待すること

朴木 佳緒留(神戸大学名誉教授)



「ここいろ」の開設を心より喜んでいます。 長年、待ち望んだ男女共同参画センターで す。私が伊丹市とのご縁をいただいたのは 1994年でした。当時の「女性政策懇話会」 の委員になったのがきっかけでした。その後、 2000年からのおよそ10年間、伊丹市男女 共同参画施策市民オンブードを務めさせて いただきました。

このような活動をするうちに「伊丹愛」が 芽生え、すっかり伊丹贔屓になりました。理 由は複数ありますが、「顔の見える関係」で 地域や人々の暮らしが成り立っていることが 大きく作用しています。なかには「古めかし い関係」もないわけではなく、男女共同参画 とは程遠いと思うこともあります。そのよう なこともありながら、しかし、町の商店主が 地域の子どもの安全を心配する、市民が公 共施設を気軽に利用して仲間づくりをする 等々の市民のつながりが実感できる場面に 何度も遭遇してきました。

一般に、「男女共同参画」は人と人との関 係性を再考し、再編することを課題の一つと していますが、「市民のつながり」は男女共 同参画社会を形成する大切な基盤であると 考えています。

「ここいろ」が市民同士の「顔の見える関 係 | をいっそう良く、そしてより幅広く、より 平らかなものにしていく拠点となり、「ここい ろ」ならではの活動が生みだされることを期 待しています。

源 淳子(女性学研究者) れ

1980年代、男女共同参画センターに類す るセンターが各地で多く立ち上がりました。 ジェンダーの問題を自分の問題にする参加 者が熱意をもって集結しました。そのなかの ひとりにわたしもいました。自分らしく生きて ─ いないわたしに気づいたからです。ジェン ダーはわたしの問題であり、センターは自分 らしく生きているかを問う場でした。それは、 現在も変わっていないと思います。いろいろ ✓ な人間関係のなかでジェンダーをわたしの問 題としてともに考えていく場が、「ここいろ」 だと思います。



生活のなかで「あたりまえ」としていること を再考してみませんか。非日常的にしかおこ りませんが、結婚式の最後に親へお礼を述 べるとき、「お父さん、お母さん、ありがとう ございました」と、なぜお父さんを先にいうの でしょう。また、親を亡くした通夜や葬儀で、 きょうだいの焼香順は長男が最初だと思って いませんか。こうしたあたりまえのことをだれ がいつ決めたのでしょう。そして、どのように 現在まで伝わってきたのでしょう。

非日常的なことは、かならず日常的な毎日 の生活のなかから生まれています。身近なわ たしたちの生活、世間、社会のなかの「あた りまえ」として存在するジェンダーの問題を 考え、わたしが自分らしく生き、他者との関係 をどのように創るのかを考え、実現に向けて いく場こそ「ここいろ」だと期待しています。



みょうげつ

佐々木 妙月 (情報の輪サービス株式会社代表取締役)

10代。経済力を持てない母の生き方を見ていて経済力を持とうと決めた。20代。経済的に自立するために生涯働くと決めた。30代。女性として働き続けることでの山や壁。生き苦しさ。モヤモヤ、ガサガサ、イライラの思いや経験、疑問に対して、答えを求め続けた中、1980年代にフェミニズムと出会い、思いっきり泣いた。楽になった。心が救われた。

母の苦しさは私の苦しさであり多くの女性の苦しさでもある。 私が抱える悩みや問題は、決して私の問題ではなく社会の問題でもあることと捉え直す視点を得た。以来「個人的なことは社会的なこととして活動してきた。 2020年の今、国内外で声をあ げる第四波フェミニズム運動に 久しぶりに心が躍る。

おりしも2020年4月に伊丹市立男女共同参画センター「ここいろ」が開設された。大切なことは箱もの(場所)ではない。そこには妥協のない「ジェンダーの視点」があるかないか。早速、6月から始まるジェンダー講座が「ここいろ」の姿勢を物語る。

2019年7月現在、女性センター、男女共同参画センターは365施設とある。形骸化していないか。妥協の産物になってはいないか。見えない圧力に諦めという敵が私たち女性にありはしないか。少なくとも私には「諦め」という敵が存在する。



フェミニズムは私の中の「諦め」と「社会」への闘いである。

私たちはひとりではない。 「ジェンダーの視点をキーワードに手を携えて痛みと優しさを 共有し、緩やかなつながりを作 る活動の場となることを心から 期待している。 個々の色々がつながれる場に

暑中お見舞い申し上げます。

コロナ禍からのお疲れは出ていませんか?

大阪国際空港(伊丹空港)がある都市として知られる伊丹市が、

「多様性を認め合う共生社会」の実現のために、4月に開設した男女共同参画センター ここいろは、国の新型コロナウイルス拡大防止のための「緊急事態宣言」を受け、5月末まで休業となりました。 その中で一部実施した相談事業から、休校中の子どもの世話や夫の在宅勤務による 家事の負担増から疲弊する女性たちの声を聴きました。



田上時子

伊丹市立男女共同参画センター ここいろ 指定管理者 NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西 理事長 DVや家事負担の不平等など従来からのジェンダー課題が 非常時には深刻さを増す社会問題であるということの発信や 課題解決のための拠点施設が必要であると改めて感じました。

伊丹市の男女共同参画推進に貢献できるよう、 8名の職員が日々精進しますので、ご支援くださいますよう お願い致します。

講座案内

「性別に関わりなく、誰もが自分らしく生きられる社会づくりの拠点」施設として、 男女共同参画の学習を目的とする講座を実施します。

はじめてのCAPワークショップ ~小学 1·2 年生対象~



CAP(キャップ)とは、子どもが暴力から自分を守るための人権教育プログラムです。子どもを取り巻く暴力から自分の身を守るためにどう対応するか、子どもの内なる力を引き出す体験型プログラムです。

対象:子どもワークショップ15人、大人ワークショップ20人

参加費:無料

一時保育:6人(1歳~就学前まで、一人につき300円、要予約)

<mark>申 込 み:7/1(水)~ 電話・窓口で受付(先着順)</mark>

8/2 ($_{\rm 15:30}$) $^{14:00}$ $^{\sim}$

ファシリテーター NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西スタッフ

サポート・グループ「"シングルマザー"という選択 |

「私のこの選択は正しいのだろうか」、「子どものことや仕事のこと、これからのことを考えただけで不安」と、シングルマザーの抱える迷いや悩みは数え切れません。同じ悩みを持つ人たちが語り合うサポート・グループで、知恵や経験を話してみませんか。乗り越えられる強さと、話せる仲間が見つかるかも知れません。

9/4 ~ 10/9 (各金曜日)

対 象: テーマに関心のある女性10人(原則全回参加できる方)

参加費:無料

一時保育:6人(1歳~就学前まで、一人につき1回300円、要予約)

申 込 み:8/1(土)~ 電話・窓口で受付(先着順)

10:00~12:00【6回講座】

ファシリテーター 宮本 由起代さん (NPO法人心のサポート・ステーション代表理事)

女性セミナー「私が考える幸せな'逝き方'とは」

平均寿命が延び、価値観も多様化してきた中、それでも「死についての話なんて縁起でもない」、「終活なんてどうしたらいいか分からない」と、考える方もおられるかも知れません。超高齢化社会で、多死社会になった日本。「人まかせ」ではなく、「私」はどう考えるのか?「おひとりさま」でも、子どもや孫がいる女性も一緒に、話をしてみませんか。

対 象: テーマに関心のある女性15人

参加費:無料

ー時保育: 6人 (1歳~就学前まで、一人につき300円、要予約) 申 込 み: 8/1(土)~ 電話・窓口・センターHPで受付(先着順) 9/16(水)

 $10:00 \sim 12:00$

講師 上村 くにこさん (甲南大学名誉教授)

子育で支援者養成講座

こどもの多様性を尊重し、たたかず、甘やかさず、子育でする方法「スター・ペアレンティング」と、ジェンダーの視点を持った、子育で支援・保育ボランティアについて学びます。

 $10/15 \sim 11/12$

(各木曜日)

10:00~12:00【5回講座】

対象: テーマに関心のある方20人(全回参加できる方) 参加費: 無料

① ジェンダーとは スター・ペアレンティング I 概論	田上 時子さん (NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西理事長)
② スター・ペアレンティング II	奥平 恭子さん / NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西スタッフ
③ スター・ペアレンティングⅢ	奥平 恭子さん
④ 絵本の持つ力、絵本の魅力 子どもとふれ合う工作	石浜 繁子さん (えほんのおうち ゆめのき文庫主宰) 竹下 郁代さん (NPO法人女性と子どものエンパワメント関西スタッフ)
⑤ まとめ 保育活動紹介	田上 時子さん 子育て支援グループ きらきら星

-- 時保育: 6人 (1歳~就学前まで、一人につき1回300円、要予約) 申込み: 9/1(火)~ 電話・窓口・センターHPで受付(先着順)









働く男性のためのストレスとのつきあい方

新型コロナウイルス感染症対策でテレワーク・在宅勤務が進み、急激な変化からストレスや心の不調を訴える人もいます。先行きにも不安を感じる今、これからどうストレスとつき合えばいいのか考えてみませんか。

 $10/31(\pm)$ $14:00 \sim 16:00$

対象:テーマに関心のある男性20人

参加費:無料

一時保育: 6人 (1歳~就学前まで、一人につき300円、要予約)申込み: 9/1(火)~電話・窓口・センターHPで受付(先着順)

講師 福江 敬介さん (一般社団法人日本男性相談フォーラム相談員)

職場でのコミュニケーションスキルUP講座



相手を尊重しながら、自分の意見を率直に伝える、アサーティブなコミュニケーションを学んでみませんか。取引先や上司・部下の関係の中で、より良い人間関係を構築するために、有効なスキルです。自分だけではどうしようも出来ないと思っていた「言いたいことが言えない。」、「パワハラにならないように部下に伝えたいが。」といった悩みに対して、日常業務で多いに活用できるコミュニケーションスキルのヒントがあります。(④ ® とも同じ内容となります。)

対象:テーマに関心のある方 各回20人

参加費:無料

--時保育: 6人 (1歳~就学前まで、一人につき1回300円、要予約) 申込み: 11/2(月)~電話・窓口・センターHPで受付(先着順) または

 $\mathbb{B}^{12/1}8$ (金) $^{10:00}$ $^{\sim}$ $^{12:00}$

講師 井山 里美さん (NPO法人女性と子どものエンパワメント関西) 事務局長

サポート・グループ「母と娘の関係」

母との関係が、「重くてしんどい」と感じていませんか。 過干渉の母、依存してくる母、など悩みはさまざまです。新しい一歩を 踏み出すために、サポート・グループで話し合ってみませんか。母との 関係を見つめ直し、解決の糸口を探しましょう。

対 象: テーマに関心のある女性 10人

参加費:無料

<mark>一時保育:</mark>6人 (1歳~就学前まで、一人につき1回300円、要予約)

申 込 み:12/1(火)~ 電話・窓口で受付(先着順)

2021年 1/8~2/**12** (各金曜日)

10:00~12:00【6回講座】

ファシリテーター 宮本 由起代さん (NPO法人心のサポート・ステーション代表理事)

ここいろ力フェ♪ここがあなたの居場所になればいいなぁ~♪ 各10:00~11:30

各10:00~11:30 8/27(木) 9/26(土)

お茶を飲みながら、一緒に語り合いませんか。 毎回、テーマを設けてファシリテーターが進行します。 申込みは不要です。当日直接お越しください。 10

 $10/18(B) \ 11/28(\pm) \ 12/20(B)$

 $1/23(\pm)$ $2/21(\pm)$ $3/27(\pm)$

参加費:無料

(お子さん連れの参加も可)

8月のテーマ:子育でのイライラ、モヤモヤ

9月のテーマ:同性パートナーシップ制度について、語ろう

相談案内

さまざまな悩みを整理し、自分らしく次の一歩を踏み出すため、 専門のカウンセラーや弁護士が、あなたと一緒に考えます。 相談方法は、面接と電話相談があります。相談は無料、秘密は厳守いたします。

相談予約電話番号 072-781-5516

一時保育 1歳~就学前まで(無料)、予約時にお申し出ください。

相談事業名	曜日	時間	備考
女性のための カウンセリング	火曜日	10 時~14 時	面接・要予約 (一時保育有)
女性のための 悩み電話相談	月曜日 第1日曜日	10 時~14 時	直通電話 072-781-5531
女性のための チャレンジ相談	第2木曜日 (原則)	10 時~14 時	面接・要予約 (一時保育有)
女性のための 法律相談	第 1 水曜日 (原則)	10 時~13 時	面接・要予約 (一時保育有)
男性のための 悩み電話相談	第1土曜日	15 時~18 時	直通電話 072-781-5532
セクシュアル マイノリティ相談	金曜日	15 時~18 時	直通電話 072-767-1012 メール相談 右の QR コードを読み 取り入力してください。
就労支援相談	原則 月2回実施 ※	9 時~12 時	面接・予約優先 ※ 実施日は HP・電話・広報で ご確認ください。

女性のための **チャレンジ相談**

再就職や起業、資格取得など、チャレンジしようとする女性を応援します。離婚、シングルマザーの働き方など、あなたの悩みに寄り添い、新しい一歩に向けて、産業カウンセラー・キャリアコンサルタントの資格を持つ女性相談員がアドバイスや情報提供を行います。

女性のための法律相談

新型コロナウイルスの感染拡大防止により、外出自粛・休業等が求められるなか、生活不安やストレスによるDV(配偶者等からの暴力)被害の増加、深刻化が懸念されています。法律相談は、離婚や男女問題を重点的に扱う女性弁護士が担当しています。

男性のための悩み電話相談

これまで健康で活動的だった人も、不安で憂鬱な気分になったり、「眠れない」「しんどい」という思いを抱えていることがあるかも知れません。感情が爆発するまでため込まず、ぜひ電話相談をご利用ください。男性カウンセラーが対応します。

施設案内

学習室1・2

男女共同参画のためのセミナー等を開催する

他、グループ活動や学

習会等に利用できます。

図書・情報スペース

男女共同参画に関する情報の収集をしています。図書の閲覧・貸出ができます。



フリースペース

打ち合わせや休憩等に使える オープンスペースです。

就労支援コーナー

ハローワーク伊丹職員による就労支援相談や求人情報 を提供します。





相談スペース

学習室2 倉庫 図書・情報 スペース フリースペース

担談スペース 作業室 プレイルーム 就労 支援コープ



プレイルーム

入口

一時保育や、むっくむっくルーム (地域子育て支援拠点事業)を実 施。貸室利用できます。

※各貸室の使用料金、申込み方法等については、ホームページをご覧ください。

おすすめ図書

図書・情報スペースでは、男女共同参画社会をめざす さまざまな活動をサポートする情報を収集し、発信しています。 図書貸出は、ひとり3冊・2週間までです。



『この星は、私の星じゃない』

田中美津

岩波書店 2019年5月

1970年代初頭、田中美津の思いに多くの女性たちが共感し、日本のウーマンリブが始まった。それから半世紀。幼い頃から「この星は私の星じゃない」と呟きつつ不器用に全身でこの星に立ち続けた田中美津76歳が折々の想いを綴った一冊。



『青のフラッグ』第1~7巻

KAITO

集英社 2017年2月~ 2020年4月

将来の進路に悩む時期に出会った4人の男女。主人公太一と太一がなぜか苦手と感じる女子二葉、幼馴染でリア充の男子桃真、二葉の親友で強気な女子真澄が繰り広げる予想外の展開の青春ラブストーリー・コミック。



愛称 *ここいろ、は、 一人ひとり (ここ=個々) が 自分の色 (いろ) を彩ることのできる 拠点施設であることを願って、 公募で名付けられました。

開館時間

休館日

月〜土 午前9時〜午後9時 日曜日 午前9時〜午後5時30分 *日曜日は月2回のみ開館 第1・3日曜日(1・5・8月除く) 日曜日(第1・3日曜除く)、祝日 年末年始(12/29~1/3)

(アクセス)

阪急伊丹駅から徒歩約7分/JR伊丹駅から徒歩約8分 お車でお越しの際は、宮ノ前地区地下駐車場(有料)等をご利用ください。





facebook 回覧器 回

伊丹市立男女共同参画センター ここいろ 指定管理者

NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西 〒664-0895 伊丹市宮ノ前2-2-2 伊丹商エプラザ5階

電話: 072-781-5516 FAX: 072-781-5530

https://www.itami-kokoiro.jp/

